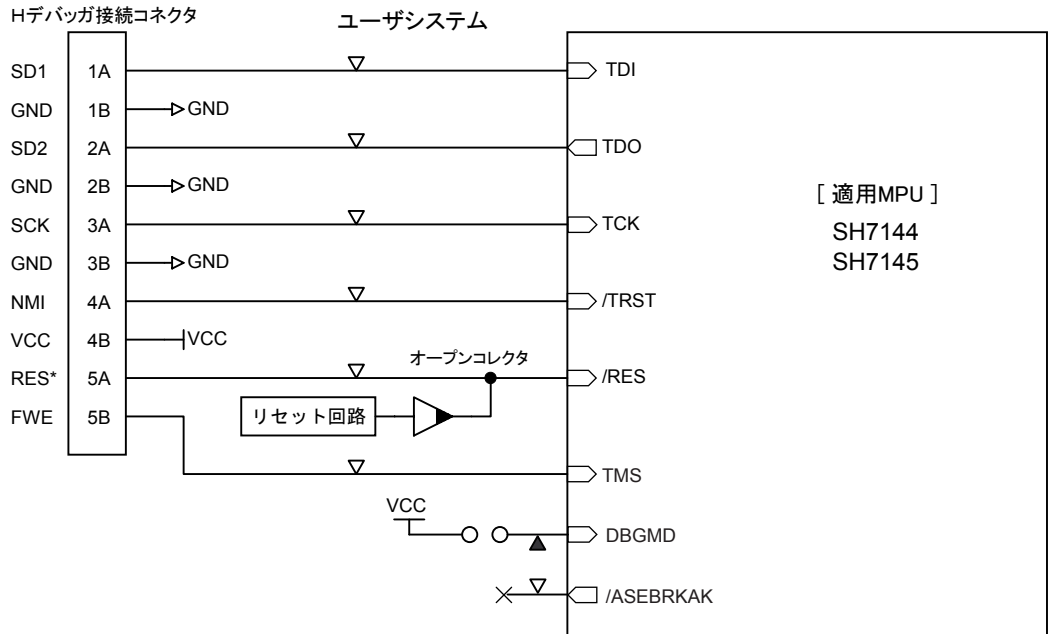


【 接続例26 】 SH7144,7145の場合 (H-UDI接続)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です、▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K～22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になるハードを設計して下さい。
- 3) デバッグ時には/DBGMD(HIGH)にして下さい。
- 4) /RES信号はH-debuggerから制御していますので入力になります。(注意 E10A-USBと相違)
- 5) /RES信号はCPU設定で、使用/不使用の選択が出来ます。
- 6) /ASEBRKAKは、抵抗プルアップ処理をし開放にして下さい。